

情報公開内容

課題名 : Effectiveness of combined use of imprint cytological and histological examination in CT guided tissue-core biopsy (CT ガイド下針生検の有用性についての検討)

本研究の目的

CT ガイド下生検は広く行われていますが、その診断能を高めるためにさまざまな試みがなされています。当院ではより正確に病変を穿刺する工夫として CT 透視システムを用いています。また、CT 室でその場で簡易な細胞診を行い十分な検体が獲得されているか評価したうえで、最終的な病理診断を行っています。本研究の目的は、当院における CT ガイド下針生検の成績などについて検討することです。

本研究の対象

2009 年 10 月から 2013 年 6 月の間、本院において CT ガイド下生検が行われた患者さん約 150 名。

本研究の意義

本研究により CT ガイド下針生検の診断能を向上させる方法などが明らかになれば、今後のがんに対する治療戦略を構築していくうえで大きなインパクトがあると考えています。

研究の方法

本研究ではすでに行われている画像所見や検査データなどを解析し、CT ガイド下針生検の成績などを検討します。カルテを調べて調査することが主な調査方法です。調査項目は、患者の性別、年齢、画像所見、臨床情報（病理結果、合併症、臨床経過など）です。

個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ、画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用します。
- (2) 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データは外部と独立したコンピューターで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピューターをセキュリティーの厳重な部屋に保管します。
- (5) 収集した患者さんのデータは、研究公表後データはすべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

担当者所属：広島大学病院 放射線診断科

職名：准教授

氏名：研究担当者 山上卓士

連絡先電話番号：082-257-5257